

平成27年度 京丹後市の教育



京都文化博物館（京都市中京区）にて開催

京丹後市教育委員会

「平成27年度版京丹後の教育」発刊のことば

平成27年3月、京丹後市教育振興計画を策定し、今後10年間の京丹後市が目指す教育として「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育」を定めました。平成27年度の教育行政は、この「目指す教育」にむけての初年度として、精力的に取り組んでまいりました。

京丹後市の最も大きな教育振興策であります小中一貫教育では、先に取り組んでおります峰山・網野中学校区に加え、新たに大宮中学校区でもスタートとともに、丹後・弥栄・久美浜中学校区も導入準備校として取り組むほか、「丹後学モデルカリキュラム」を作成し、平成28年度からの全中学校区での実施に向けた基盤を整えました。

子育て支援策では、大幅な保育料の引き下げや、病後児保育事業の開始など、子育てを支える環境を整備するとともに、10箇所で開設している放課後児童クラブでは、登録児童が増えるなか、待機児童ゼロを継続し、保護者の就労と子育ての両立を支援することができました。

学校教育関係では、平成27年4月、網野中学校と橘中学校の再配置による新生網野中学校が開校するとともに、吉原小・五箇小学校づくり準備協議会による協議を経て、平成28年4月のいさなご小学校開設に向けた準備を進めました。また、学校施設の整備では、学校施設耐震化計画により進めてきた市立小中学校施設の主体構造部の耐震化が、吉原小学校（現いさなご小学校）の耐震補強を最後にすべて完了するとともに、学習環境の向上を図るために普通教室等の空調化工事に着手し、27年度に大宮、網野、丹後及び弥栄中学校で実施しました。

社会教育関係では、学校支援地域本部事業として、地域総ぐるみで学校を支える学校支援ボランティアが、新たに42人の新規登録者を得て、512人にまで拡大し、学校で行う授業や行事などを支えていただきました。また、社会体育事業では、全国高等学校総合体育大会カヌー競技が久美浜湾カヌーレーシング競技場で開催され、大会の運営を支援しました。

文化財保護関係では、丹後の至宝を紹介した「日本のふるさと 大丹後展」を京都文化博物館で開催し、約18,500名の方にご来場いただいたことや、京丹後市史で本文編「図説京丹後市の自然環境」と資料編「京丹後市の古地図」を発刊しました。また、市内各資料館等においても市外からの入館者が増加傾向にあることから、市内外に向けて丹後の魅力を発信することができました。

本誌「京丹後の教育」（教育要覧）の発行は今回で12年目となります。教育委員会活動を紹介する資料として、引き続き内容の一層の充実に努めてまいりたいと思いますので、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

平成28年9月

京丹後市教育委員会教育長 吉岡 喜代和

市の花「トウテイラン」

トウテイランは、8月から9月にかけて多数の青紫色の花を開く多年草であり、山陰海岸の砂丘に見られ、箱石砂丘の群落は「京都の自然200選」にも選定されています。

盛夏から秋にかけ、中国の洞庭湖（どうていこ）の湖水のように美しく神秘的な色の花を咲かせるトウテイランは、日本固有種で外国には自生しておらず、また、日本国内でも数か所にしか自生していない非常に貴重な花です。



市の木「ブナ」

ブナは、温帯林を代表する落葉広葉樹であり、雪にもめげず、春には他の落葉樹に先がけて芽吹きを始めます。

京丹後市には、山から里、そして海が1つの市の中で連続しているという特徴があり、森で育まれた栄養分が川から水田へ流れてもいしいお米を育て、最後には海へ流れ、貝や魚等の生き物を育んでいます。

温暖化や森林破壊、人口爆発等、地球規模での課題に直面している今、気候を安定させ、多様な生き物を育み、「緑のダム」として水や食料を私達に与えてくれるブナ林は、まさに京丹後市の自然豊かな環境のシンボルと言えます。



市の歌について

未来を担う子どもたちが、ふるさとに対して興味や関心を持ちふるさとを誇りに思うことができる歌をめざし、市民の皆様に永く歌い継がれる歌、京丹後市に夢を持ち、活き活きと歌い継いでいける歌、そして希望を持ち、将来に向かい明るい展望が持てる歌となるように京丹後市の魅力をもりこんだ歌です。（作詞：梅田俊作 作曲：藤原哲也）



京丹後市歌

詞 梅田 俊作

一、海青く 緋の半島 風すよぐ
めぐりくる 季節のなかに いたかれりて
描く夢 色鮮やかに いつまでも
ふるさと色は 君の原色

三、さんさんと 天(そら)に子午線 時が往く
世代越え 伝え守る 手から手に
ものづくり ものがたりの 歪手箱
はるか未来へ 君に預け物

二、薄墨の 雲間に光る 海原は
はるかなる 鮎の道と 波づき
季節風(うらにし)に ぬかるむ大地 踏みしめて
歩いていこう 夢が道しるべ

四、いにしえの 歴史とたどる 丹後路は
新しき 王國へと つづく道
手とつなごう みな思いが 罗針盤
ただひたすらに 京、丹後の 明日へ

目 次

教育行財政

1 教育委員会委員、教育委員会組織体制図	1
2 教育委員会事務局事務分掌表	2
3 教育委員会の開催状況	6
4 教育費予算の概要	10
5 教育振興計画進捗管理表	12
6 主要な決算の概要	15

子育て支援

1 幼稚園・保育所施設、運営内容	23
2 各こども園・幼稚園の教育内容、各保育所の保育の理念・保育の目標	24
3 放課後児童クラブ登録児童数	39

学校教育

1 児童生徒数及び学級数の推移	40
2 学校施設一覧	43
3 施設整備計画、学校施設改修事業	45
4 学校施設耐震化計画、学校等施設耐震化事業	52
5 学校通学区、スクールバス運行	53
6 奨学金	55
7 学校再配置	56
8 小中一貫教育	58
9 学校保健	60
10 学校給食	65
11 就学援助	68
12 教育指導	69
13 学校安全	77
14 不登校対策	80
15 研究等指定校	81
16 学校情報化推進	82

社会教育

1	社会教育事業の概要	85
2	京丹後市公民館組織体制	94
3	京丹後市公民館連絡協議会事業報告	95
4	各地域公民館事業概要	97
5	社会教育施設事業概要	120
6	社会体育事業概要	123
7	社会体育施設一覧	134
8	図書館	136

文化財

1	文化財保護事業	144
2	文化財保護関係施設	154
3	指定文化財	157

各種委員名簿

1	各種委員名簿	159
---	--------	-----

教 育 行 財 政

1 教育委員会委員

委 員 長 小 松 慶 三

委員長職務代理者 文 珠 清 道

委 員 森 益 美

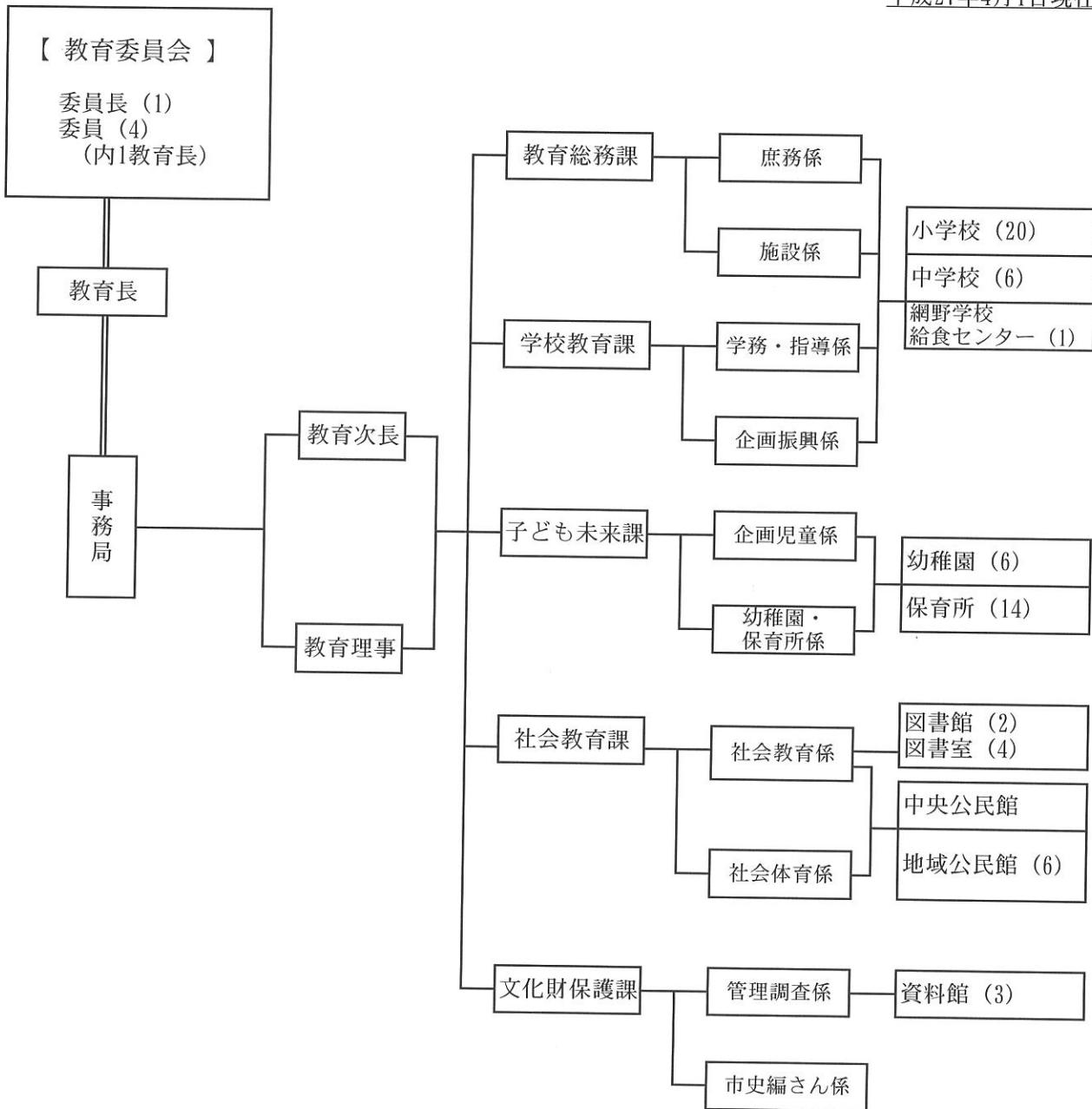
委 員 野 木 三 司

教 育 長 米 田 敦 弘

平成27年4月1日「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行されましたが、平成27年度本市教育委員会体制は、教育長の教育委員としての任期中においては、同法律の経過措置を適用しております。

教育委員会組織体制図

平成27年4月1日現在



2 教育委員会事務局事務分掌表

教育総務課

ア 庶務係

- (ア) 教育振興基本計画に関すること。
- (イ) 教育委員会の会議に関すること。
- (ウ) 学校の設置、廃止等に関すること。
- (エ) 規則等の制定及び改廃に関すること。
- (オ) 職員の任免、進退、賞罰、服務及び身分に関すること。
- (カ) 職員の給与及び福利厚生に関すること。
- (キ) 職員の公務災害に関すること。
- (ク) 非常勤職員の任用に関すること。
- (ケ) 京丹後市立学校勤務府費負担教職員安全衛生委員会に関すること。
- (コ) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- (サ) 公印の管理に関すること。
- (シ) 文書の収受及び発送に関すること。
- (ス) 教育費の予算編成及び決算に関すること。
- (セ) 奨学金に関すること。
- (ソ) 公用車の運行管理に関すること。
- (タ) 広報に関すること。
- (チ) 叙勲及び表彰に関すること。
- (ツ) 寄附採納に関すること。
- (テ) 外国語指導助手に関すること。
- (ト) 教育委員会の庶務に関すること。
- (ナ) (ア)から(ト)までに掲げるもののほか、他の課に属さないこと。

イ 施設係

- (ア) 学校施設の基本計画及び実施計画に関すること。
- (イ) 学校施設の維持管理に関すること。
- (ウ) 学校施設の防災に関すること。
- (エ) 学校施設の国庫負担金(補助金)に関すること。
- (オ) 学校施設の施設台帳及び財産台帳に関すること。
- (カ) (ア)から(オ)までに掲げるもののほか、教育施設に関すること。

学校教育課

ア 企画振興係

- (ア) 学校規模の適正化等の調査及び検討に関すること。
- (イ) 学校再配置に関すること。
- (ウ) 学校教育改革構想に関すること。
- (エ) 教科書の採択に関すること。
- (オ) 通学区域に関すること。
- (カ) 学校評議員に関すること。
- (キ) 学級編成に関すること。
- (ク) 児童生徒数の推計に関すること。
- (ケ) 指導主事の服務に関すること。
- (コ) 教育相談の総括に関すること。
- (サ) 教育支援センターに関すること。
- (シ) 学校教育の情報発信に関すること。
- (ス) スクールバスの運行管理に関すること。
- (セ) (ア) から (ス) までに掲げるもののほか、企画振興に関すること。

イ 学務・指導係

- (ア) 就学に関すること。
- (イ) 学齢簿に関すること。
- (ウ) 教科書の無償給与に関すること。
- (エ) 学校保健、学校安全に関すること。
- (オ) 小中一貫教育の実践に関すること。
- (カ) 教育のまちづくりの推進に関すること。
- (キ) 学校給食、食育に関すること。
- (ク) 学校経営、教育活動及び教育課程の指導助言に関すること。
- (ケ) 研究指定校に関すること。
- (コ) 教職員及び講師の任免並びに内申に関すること。
- (サ) 教職員の免許更新及び研修に関すること。
- (シ) 教職員の服務、公務災害及び給与事務に関すること。
- (ス) 学校の管理運営予算及び教育振興予算の執行に関すること。
- (セ) スクールサポーターの任用に関すること。
- (ソ) (ア) から (セ) に掲げるもののほか、学務・指導及び学事に関すること。

子ども未来課

ア 企画児童係

- (ア) 次世代育成支援対策行動計画の策定及び進行管理に関すること。
- (イ) 子ども未来まちづくり審議会に関すること。

- (ウ) 少子化対策、子育て支援の企画及び調整に関すること。
- (エ) 要保護児童対策地域協議会に関すること。
- (オ) 家庭子ども相談室に関すること。
- (カ) 放課後児童健全育成事業に関すること。
- (キ) ファミリー・サポート・センターに関すること。

イ 幼稚園・保育所係

- (ア) 幼稚園及び保育所の設置、廃止等に関すること。
- (イ) 就園及び保育の実施に関すること。
- (ウ) 幼稚園の教育課程及び保育所の保育計画に関すること。
- (エ) 保育費用等の徴収に関すること。
- (オ) 入園・入所児童の健康安全に関すること。
- (カ) 私立保育所及び無認可保育所に関すること。
- (キ) 幼稚園の預かり保育事業に関すること。
- (ク) 保育所の一時預かり事業に関すること。
- (ケ) 子育て短期支援事業に関すること。
- (コ) 子育て支援センターの運営に関すること。
- (サ) 子育てサポートセンターの運営に関すること。

社会教育課

ア 社会教育係

- (ア) 社会教育委員会議に関すること。
- (イ) 社会教育計画の立案に関すること。
- (ウ) 公民館に関すること。
- (エ) 図書館に関すること。
- (オ) 社会教育施設の整備及び維持管理に関すること。
- (カ) 社会教育事業に関すること。
- (キ) 社会教育関係団体に関すること。
- (ク) (ア)から(キ)までに掲げるもののほか、社会教育に関すること。

イ 社会体育係

- (ア) スポーツ推進審議会に関すること。
- (イ) 文化、スポーツ及びレクリエーションの振興に関すること。
- (ウ) 体育施設の整備及び維持管理に関すること。
- (エ) 社会体育関係団体に関すること。
- (オ) (ア)から(エ)までに掲げるもののほか、社会体育に関すること。

文化財保護課

ア 管理調査係

- (ア) 文化財保護審議会に関すること。
- (イ) 文化財保護団体に関すること。
- (ウ) 資料館、文化館等文化財関係施設に関すること。
- (エ) 文化財の普及啓発に関すること。
- (オ) 文化財補助金に関すること。
- (カ) 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (キ) 収蔵資料の管理に関すること。
- (ク) 文化財情報提供及び指導助言に関すること。
- (ケ) (ア)から(ク)までに掲げるもののほか、文化財の管理調査に関するこ
と。

イ 市史編さん係

- (ア) 市史編さんに関すること。
- (イ) 文化財の調査及び研究、収集並びに保存に関すること。

3 教育委員会の開催状況(平成27年4月～平成28年3月)

開催日	議案番号	議 案 件 名
27. 4. 3	46	京丹後市奨学金条例施行規則の一部改正について
	47	京丹後市社会教育関係団体補助金交付要綱の制定について
	48	児童合唱団補助金交付要綱の制定について
	49	京丹後市文化協会運営補助金交付要綱の制定について
	50	公益財団法人京都府丹後文化事業団運営補助金交付要綱の制定について
	51	小町ろまん短歌大会開催事業補助金交付要綱の制定について
	52	京丹後市体育協会運営補助金交付要綱の制定について
	53	京丹後市スポーツ少年団補助金交付要綱の制定について
	54	京丹後市総合型地域スポーツクラブ活動補助金交付要綱の一部改正について
	55	北前船フォーラム in 舞鶴の開催に係る後援について
	報告1号	社会教育主事の任命について
	報告2号	京丹後市立学校評議員の委嘱について
	報告3号	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について
	報告4号	京丹後市立学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱について
	報告5号	京丹後市立幼稚園・保育所内科医、歯科医、薬剤師の委嘱について
27. 5. 7	56	京丹後市社会教育委員の解嘱及び委嘱について
	57	京丹後市スポーツ推進審議会委員の解嘱及び委嘱について
	58	京丹後市図書館協議会委員の解任及び任命について
	59	京丹後市立学校体育施設等の利用等に関する条例の一部改正について
	60	京丹後市社会体育施設条例の一部改正について
	61	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について
	62	京丹後市学校給食献立作成委員会設置要綱の制定について
	63	京丹後市就学指導委員会規則の一部改正について
	64	京丹後市立学校評議員設置規程の一部改正について
	65	京丹後市立幼稚園学校評議員の委嘱について
	66	平成27年度京丹後市指定文化財の指定について
	67	「たんたん能in豊岡」の開催に係る後援について
	68	第一回 丹後伝承の旅「昔ばなし“語りの会”」の開催に係る後援について
	69	京丹後ロタリークラブ「おはなしフェスティバル」の開催に係る後援について

開催日	議案番号	議 案 件 名
	71	山陰海岸ジオパーク児童・生徒研究作品コンテストの開催に係る後援について
	72	地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウムの開催に係る後援について
	73	浦島プロジェクトVol.3 “イベントポスターをデザインしよう！”の開催に係る後援について
27. 5. 25	74	京丹後市立学校体育施設等の利用等に関する条例の一部改正及び京丹後市社会体育施設条例の一部改正の修正について
27. 6. 2	75	京丹後市史跡整備検討委員会委員の委嘱について
	76	京丹後市立旧郷小学校跡施設活用検討委員会設置要綱の制定について
	77	京丹後市立旧郷小学校跡施設活用検討委員会委員の委嘱について
	78	「スポーツ吹矢無料体験会」の開催に係る後援について
	報告 6 号	京丹後市就学指導委員会委員の委嘱について
27. 7. 1	79	京丹後市小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について
	80	京丹後市史跡整備検討委員会への諮問について
	81	京丹後市就学困難な幼児、児童及び生徒の援助に関する規則の一部改正について
	82	第32回歴史地震研究会京丹後大会の開催に係る共催について
	83	夏休みスペシャル読み聞かせコンサートの開催に係る後援について
	84	「リアル宝探しイベント発見丹後探検隊」の開催に係る後援について
	85	2015 「こころの森ギャラリー」事業の開催に係る後援について
	86	和装教育におけるゆかた研修会の開催に係る後援について
	87	浦島プロジェクトVol.4 “サマーキャンプ” の開催に係る後援について
27. 8. 3	88	第49回全国ろうあ者体育大会の開催に係る後援について
	報告 7 号	京丹後市スポーツ推進委員の解嘱について
	報告 8 号	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
27. 8. 20	89	平成28年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について
	90	平成28年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について
	91	京丹後市放課後子ども総合プラン運営委員会設置要綱の制定について
	92	京丹後市琴引浜鳴き砂文化館の指定管理者の指定について
27. 9. 3	93	京丹後市病後児保育事業実施要綱の制定について
	94	京丹後郷土芸能祭「丹後の祭り」の開催に係る後援について
	95	「丹鉄で行く秋の久美浜 カヌー体験&歴史探訪散策」の開催に係る後援について
	96	平成27年度丹後はぐくみフェスティバルの開催に係る後援について
	報告 9 号	平成27年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

開催日	議案番号	議案件名
27. 10. 7	97	丹後展企画委員会委員の解嘱及び委嘱について
	98	はあと&きらめきワークフェスタin京丹後の開催に係る後援について
	99	平成26・27年度京都府公立幼稚園教育研究会研究指定園研究発表会の開催に係る共催について
27. 11. 9	100	平成26年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について
	101	京丹後市谷口謙・未来応援基金条例の制定について
	102	京丹後市子どものための保育給付を受ける資格等の基準を定める条例の一部改正について
	103	平成26・27年度京都府公立幼稚園教育研究会研究指定園研究発表会の開催に係る共催決定の取消し及び後援について
	104	～がんばってるぜ「峰共」未来へ！！～の開催に係る後援について
	105	丹吹・紫音・プティエトワール 琴楽舞（コラボ）演奏会の開催に係る後援について
27. 12. 3	106	クリスマスコンサートの開催に係る後援について
	報告10号	京丹後市子ども未来まちづくり審議会委員の委嘱について
	報告11号	京丹後市放課後子ども総合プラン運営委員会委員の委嘱について
28. 1. 4	1	京丹後市地域公民館長の公募について
28. 2. 3	2	平成28年度「指導の重点」について
	3	平成28年度全国学力・学習状況調査の実施について
	4	京丹後市奨学金条例の一部改正について
	5	京丹後市社会体育施設条例の一部改正について
	6	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について
	7	京丹後市特定教育・保育における実費徴収に係る補足給付費支給要綱の制定について
	8	京丹後市子どものための保育給付を受ける資格等の基準を定める条例施行規則の一部改正について
	9	京丹後市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の一部改正について
	10	京丹後市立保育所延長保育事業実施要綱の一部改正について
	11	京丹後市一時預かり事業実施要綱の一部改正について
	12	京丹後市子育て短期支援事業実施要綱の一部改正について
	13	京丹後市病後児保育事業実施要綱の一部改正について
	14	京丹後市放課後子ども総合プラン行動計画編の策定について
28. 2. 16	15	平成28年度教育委員会関係予算について
	16	京丹後市奨学金条例施行規則の一部改正について
	17	男声合唱団エル・ドラード 第1回演奏会の開催に係る後援について
28. 2. 26	18	平成28年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について

開催日	議案番号	議案件名
28. 3. 2	20	京丹後市社会教育指導員の委嘱について
	21	京丹後市立資料館長の委嘱について
	22	京丹後市文化財保護審議会委員の委嘱について
	23	京丹後市就学前からの中一貫教育の円滑な実施に係る保育所、幼稚園及び学校の総称に関する規則の制定について
	24	京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	25	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について
	26	京丹後市立小中学校通学用ヘルメット購入費補助金交付要綱の制定について
	27	京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について
	28	行政財産の用途廃止について
28. 3. 11	29	平成28年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について
28. 3. 17	30	京丹後市教育委員会職員補職名規則の一部改正について
	31	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
	32	京丹後市指導主事の任命について
	33	京丹後市社会教育委員の委嘱について
	34	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
	35	京丹後市行政不服審査法の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則の制定について
	36	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例施行規則の一部改正について
	37	京丹後市教育委員会事務局文書取扱規程の一部改正について
	38	京丹後市立保育所延長保育事業実施要綱の一部改正について
	39	京丹後市一時預かり事業実施要綱の一部改正について

教育委員会制度について

教育委員会は、都道府県及び市町村等におかれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツ振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

(教育委員会制度の根拠法律:「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」)

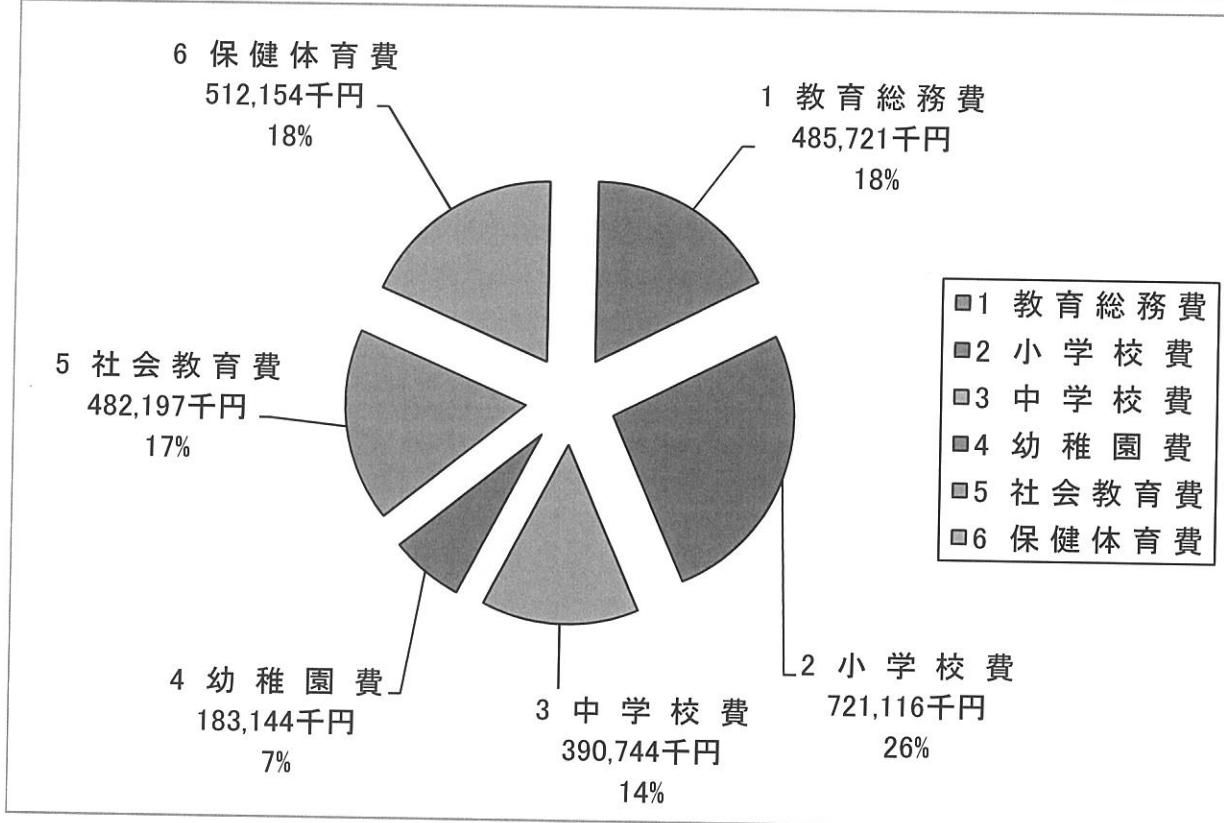
教育委員会制度の意義としては、①地方自治の尊重、②教育行政の中立性と安定性の確保、③指導行政の重視、④教育行政と一般行政の調和、⑤国・都道府県・市町村の連携、⑥生涯学習など教育行政の一体的な推進、の6つがあります。

4 教育費予算の概要

(単位：千円)

区分	平成27年度	平成26年度	比較
一般会計総額	31,910,000	34,190,000	△ 2,280,000
教育費	2,775,076	3,133,508	△ 358,432
(教育費の占める割合)	8.7%	9.2%	—
1 教育総務費	485,721	394,303	91,418
2 小学校費	721,116	956,319	△ 235,203
3 中学校費	390,744	604,720	△ 213,976
4 幼稚園費	183,144	161,842	21,302
5 社会教育費	482,197	444,139	38,058
6 保健体育費	512,154	572,185	△ 60,031

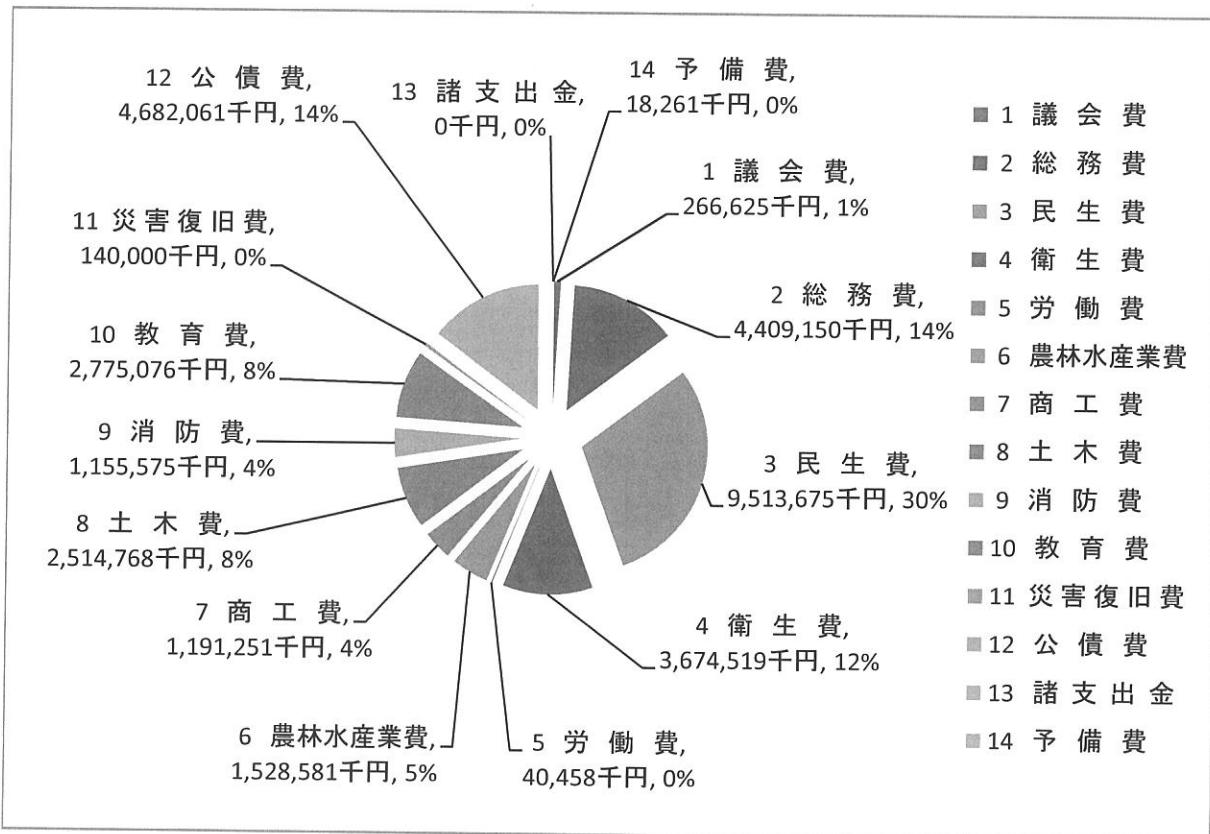
民生費			
1 児童福祉費	3,148,451	4,060,923	-912,472
(1) 児童福祉総務費	223,179	206,403	16,776
(3) 保育所費	1,816,163	2,689,310	△ 873,147



一般会計歳出予算の目的別内訳

(単位 : 千円)

区分	平成27年度	平成26年度	比較
1 議会費	266,625	248,563	18,062
2 総務費	4,409,150	3,773,012	636,138
3 民生費	9,513,675	10,563,850	△ 1,050,175
4 衛生費	3,674,519	4,461,274	△ 786,755
5 労働費	40,458	117,291	△ 76,833
6 農林水産業費	1,528,581	1,466,995	61,586
7 商工費	1,191,251	1,346,675	△ 155,424
8 土木費	2,514,768	2,398,666	116,102
9 消防費	1,155,575	1,925,945	△ 770,370
10 教育費	2,775,076	3,133,508	△ 358,432
11 災害復旧費	140,000	40,000	100,000
12 公債費	4,682,061	4,695,392	△ 13,331
13 諸支出金	0	0	0
14 予備費	18,261	18,829	△ 568
合計	31,910,000	34,190,000	△ 2,280,000



5 京丹後市教育振興計画(平成27年度～平成36年度) 進捗管理表

【重点目標1】 就学前の子どもの教育・保育環境を充実します。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	実績値 (H27年度末)	27年度成果と今後の課題
1. 就学前教育の環境整備 2. 保幼小の連携強化	幼稚園の数	園	4(平成25年度)	6	6	待機児童0の継続はもとより、幼稚園・保育所の利用児童が増加するなど、子育てを支える環境づくりに寄与した。従前に比べ、少人数をクラス単位とする乳児(3歳未満児)の利用が増加しているため、より多くの職員を確保することが課題である。
	病後児保育の実施事業所数	か所	0(平成25年度)	1	1	平成27年11月から事業を開始し(1ヵ所:ゆうかり子ども園内)、保護者の子育てと就労の両立等を支援することに寄与した。現時点では数件の利用に留まっているため、今後の利用を拡大を図っていく。
	子育て支援センター数	か所	7(平成25年度)	8	8	平成26年度に整備した3つのこども園のうち、峰山とかぶと山の施設の一角に新たに支援センターを開設し、平成27年度からこれらを加えて市内8ヵ所体制となった。利用者が増加しているため、今後、増設又は現施設の拡張を検討する。
	一時預かり実施事業所数	か所	6(平成25年度)	9	8	平成26年度に整備した3つのこども園のうち、峰山と弥栄の施設で新たに一時預かりを開始し、平成27年度からこれらを加えて市内8ヵ所体制となった。平成28年度は保育所の公設民営化により、大宮北保育所、こうりゅう保育所でも新たに事業開始したが、今後も保護者の家庭事情や就労など、多様なニーズを注視し、利用が増加するなら実施施設の増設を検討する。
	保育所・幼稚園職員の全体研修数	回	3(平成25年度)	5	3	臨時職員も含め、多数で実施することにより、問題意識の共有や各種課題の共通理解など、一定の成果があった。土曜日に開催しているが、各施設の運営と並行しての事業であり、交代での参加のため、全職員が同時に受講できないのが課題である。

重点目標2 確かな学力・生き抜く力を育みます。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	実績値 (H27年度末)	27年度成果と今後の課題
1. 小中一貫教育の推進 2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上 3. 確かな学力の育成 4. 社会を生き抜く力の育成	学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立	校区	実施中学校区0(平成25年度)	全中学校区(学園)で実施 6	3中学校区(導入校)	全ての学校園の学校関係者評価の必須項目に「小中一貫教育の推進」を設定したこと、学園の取組等についての検証・評価については各校園単位ではP D C Aのサイクルで進めることができた。ただ学園単位での学校と地域との連携の組織を設置し学園評価を進めることについては、全ての学園とはなっておらず今後の課題となっている。
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合	%	小学生73.2% 中学生50.6% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙(平成25年度) 小6・中3	小学生80%以上 中学生70%以上	小学生77.5% 中学生50.0%	各学園での小中一貫教育の取組(家庭学習がんばり週間、学園での家庭学習の手引き作成による指導等)によって、小学校においては少しずつ高学年の家庭での勉強時間に改善が見られるが、中学校においては部活動等の関係もあり、十分に家庭での勉強時間が確保されている生徒の割合が依然低い状況である。今後は中学校における重点的な取組を推進していく必要がある。
	一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着		小中学校各教科の全国平均正答率 ※毎年の文部科学省「全国学力・学習状況調査」	市平均の全教科全国平均以上	中学校数学Bを除く全教科全国平均以上	27年度は26年度のように小6、中3のすべての教科の基礎問題、活用問題とも全国平均を上回ることはできなかったが、概ね全国平均を上回る結果となつた。引き続き取組を進め、学校間格差をなくしていくことで目標達成を目指していくことに加えて、全国平均より上位となっている府平均を上回ることもを目指していく。
	将来の夢や目標を持っている生徒の割合	%	中学生70.0% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(平成25年度) 中3	中学生90%以上	中学生69.3%	各学園での小中一貫教育の取組や丹後学モデルカリキュラムによる指導及び各校のキャリア教育の推進は図っているものの、依然として「将来に夢や目標を持っている生徒」の割合は7割前後となっている。引き続き全ての学園で系統的なキャリア教育を推進することで割合を高めていく必要がある。

重点目標3 子どもを健やかに育む教育環境を充実します。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	実績値 (H27年度末)	27年度成果と今後の課題
1. 子どもの安全・安心の確保 2. 学校施設環境等の整備充実 3. 個に応じた支援体制の充実 4. ボランティアによる学習支援の推進	市立小学校の耐震化	%	88.5(平成25年度)	100	100	吉原小学校(現いさなご小学校)の耐震補強が完了し、施設の安全性が向上した。なお、当該施設を最後に学校施設耐震化計画による小学校の耐震化は完了した。
	市立中学校の耐震化	%	93.5(平成25年度)	100	100	中学校の耐震補強は、平成26年度の峰山中学校を最後に学校施設耐震化計画による中学校の耐震化は完了した。
	非構造部材の耐震対策	%	0(平成26年度)	100	14.2	峰山小学校及び網野北小学校において、国が指導する大規模空間(体育館やランチルームなど200m以上の空間を有する箇所等)の非構造部材落下防止措置を行った。平成28年度には残る12校(小学校10校、中学校2校)において工事を実施する予定。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	実績値 (H27年度末)	27年度成果と今後の課題
	学校支援ボランティア登録者数	人	427(平成25年度)	500.0	512	ボランティア登録者数は、過去3年間において、年間40人以上が登録されており、順調に確保できている。その反面、学校数の減少もあり、ボランティアの活動機会を提供しきれていない面が課題となっている。

重点目標4 豊かな人間性・社会性を育みます。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	実績値 (H27年度末)	27年度成果と今後の課題
1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成 2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実 3. 家庭・地域の教育力の向上 4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成	不登校児童生徒の発生率		小学校 5人/0.16% 中学校 47人/2.49% (平成25年度)	減少させる	小学校 0.28% 中学校 1.91%	小中一貫教育の推進による各校園での不登校の未然防止の取組や確実な情報の共有等によって、中学校においては不登校の出現率は2%を切る等、大きな成果が見られている。しかし小学校においては、増加傾向が見られるなど小学校での出現率を減少させるための具体的な取組等が課題となってきた。
	いじめの認知件数/発生率		小学校 386件/12.7% 中学校 189件/10.2% (平成25年度)	減少させる	小学校405件 14.3% 中学校27件 2.4%	いじめの認知件数については、各校での日常の指導や小中一貫教育における各学園の取組等によって、中学校では大きく改善が見られる。小学校では、低学年の件数が増加傾向にあるものの、発達段階の特性によるものと分析しており、より丁寧な指導を継続する必要がある。
	認知されたいじめの年度内解消率		小学校 357件/92.5% 中学校 181件/95.8% (平成25年度)	100	小学校100% 中学校100%	各校での年間3回のいじめ調査や日頃の指導により、認知されたいじめは年度内に全て解消し、いじめについて指導しきる体制の充実が図られるようになった。今後も完全解消を目指してさらに丁寧な指導を進めていく必要がある。
	いじめはいけないことだといふ意識がある児童生徒の割合	%	小学生97.0% 中学生90.9% <small>※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙(平成25年度) 小6・中3</small>	増加させる	小学校98.0% 中学校91.3%	各校での年間3回のいじめ調査や日頃の指導により、「いじめはいけないことだといふ認識」は小中とも9割以上で、少しづつではあるが計画作成時より増加をしていている。今後は、継続的で確実な指導によって100%を目指していく必要がある。
	学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合	%	小学生93.8% 中学生90.8% <small>※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙(平成25年度) 小6・中3</small>	増加させる	小学校93.2% 中学校96.6%	小学校においては、計画作成時とあまり割合としては増加していないが、中学校において継続したきめ細かな指導や小中一貫教育による学園全体での共通した指導等によって確実に規範意識が高まっている状況が見られる。今後は小学校低学年からの規範意識の醸成についての系統的な指導が必要である。
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合	%	小学生94.4% 中学生95.2% <small>※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙(平成25年度) 小6・中3</small>	増加させる	小学校94.9% 中学校94.0%	小中とも95%前後と比較的高い数値となっており、人の気持ちをわかつて行動することの重要性は小中学校の指導によって確実に浸透してきていると考えられるが、今後は個別の配慮児童生徒への丁寧な指導が必要となる。
	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	%	小学生94.0% 中学生93.2% <small>※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙(平成25年度) 小6・中3</small>	増加させる	小学校94.9% 中学校94.0%	小中とも95%前後と比較的高い数値となっており、社会貢献等への意識は、小中学校の指導によって確実に浸透していると考えられるが、さらに高めていくためにはボランティア活動等による体験学習をより充実させていく必要がある。

重点目標5 生涯にわたる豊かな学びを支援します。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	実績値 (H27年度末)	27年度成果と今後の課題
1. 生涯学習の体制づくり 2. 人権教育の推進 3. 文化芸術活動の推進 4. 社会教育施設等の整備充実	青少年の体験活動事業数	事業	42	60	50	各地域公民館で独自の事業を考え実施していることや、京都府や府内大学と連携し事業を行っていることにより概ね順調に事業数は増加している。今後は市内学校と連携・協力をしながら事業を行う体制づくりが必要である。
	趣味・教養講座数	事業	29	35	45	各地域公民館で積極的に事業に取り組んだ結果、目標値を達成することができた。その反面、地域公民館ごとに内容や実施回数にばらつきがある。職員体制の確保と職員同士の連携の強化などにより、事業内容の質の向上を図る必要がある。
	地域課題学習講座数	事業	2	10	6	各地区公民館が自治公民館への移行となって2ヶ年が経過した。27年度においては自治公民館の安定的な運営を目指し、町域ごとに設置された連絡協議会での研修会を実施するなどの取り組みが行われた。一方、地域公民館で実施する様々な事業への地域住民の参画と協力が必要であり、住民参加による事業の運営体制を構築していくことが課題である。
	高齢者大学の参加者数	人	789	1,000	968	受講生もH25年度789名、H26年度880名、H27年度968名と順調に増加しており、町域間の交流も進んでいる。また趣味講座では幼稚園や老人福祉施設などを訪問するとともに、作品も信用金庫や病院などで展示するなど、地域活動も進んでいる。一方、趣味講座ではいくつかの講座の受講者数が少ないため、講座の見直し等が必要である。
	人権学習会の参加者数	人	820(平成25年度)	1,200	1,273	人権学習への参加者数は人権講演会や子ども映画会、視聴覚障害者研修会等実施していることで目標数値を達成しており、更に高い目標へ向けて取り組みたい。しかしその一方で、参加者の固定化がみられるため、各種団体や組織の連携を図るなど、さらに多くの市民に人権について考えていただく機会を提供することが必要である。
	図書の年間貸出冊数(市民1人当たり)	冊	5.2(平成25年度)	7.0	5.65	貸出数は増加傾向にあり、児童及び大人向けの行事、テーマ展示等、利用者が図書館に関心を持つように工夫をし、多様な学習機会の提供に寄与することができた。まだ図書館を利用していない市民もたくさんいるため、今後も様々な工夫を凝らした広報啓発活動を継続していく必要がある。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	実績値 (H27年度末)	27年度成果と今後の課題
	文化協会加盟サークル数	団体	170	200	171	総合文化祭では、来場者アンケートや会員の意見を検証・協議し、内容の工夫や開催時期を見直すなど来場者増に向け積極的に取り組んでいる。また研修会を実施し会員の意識向上にも取り組んでいる。文化団体への支援により、優れた文化を鑑賞する機会の提供及び地域文化の普及・振興を図ることができた。一方、会員の高齢化による、加盟団体の退会が課題となつています。

重点目標6 歴史文化を活用し、郷土への愛着と誇りを育みます。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	実績値 (H27年度末)	27年度成果と今後の課題
1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実 2. 文化財の保護と活用 3. 資料館施設等の整備充実	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	人	1,468人(5事業 17講座) (平成25年度)	1,700	1,169	H27.12月～H28.1月開催の「大丹後展」は18,479人の観覧者があり都会の人への丹後の歴史文化財の理解と丹後への関心を高めることに寄与した。 その他、文化財セミナー5回 348人、博士講座10回 201人、丹後東海シンポジウム2回 230人、大丹後展シンポジウム 200人、陶けんコンサート・網野銚子山現地説明会90人、震災記念展 100人 例年より事業を多く開催したが、参加者が減少、高齢化している。今後は、事業内容の刷新を図る必要がある。
	資料館、文化館入館者数	人	13,808人(3施設) (平成25年度)	15,000	17,026	①網野郷土資料館 1,035人 小学3年生の社会科授業見学の定着により入館者数が増加した。②丹後古代の里資料館 3,616人 交通アクセス(京都縦貫全線開通)の改善等により入館者が増加した。③琴引浜鳴き砂文化館 12,375人 交通アクセスの改善と旅行会社のコースに設定されたこともあり入館者が大幅に増加した。 市内外から、また幅広い世代の一般見学者を増加させるため、PR強化を図っていく。
	史跡整備	遺跡	史跡整備 6 遺跡 (平成25年度) ※京丹後市文化財マスター'プラン	8	7	文化財マスタープランにより市内主要史跡等の現状、整備等について検討し整備方針を定めた。整備済の史跡を下記の6史跡とし、今後、早期に整備すべき史跡として、網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓、函石浜遺跡、湧田山古墳を定めた。 整備済の史跡 ①郷村断層、②湯舟坂2号墳、③高山12号墳、④復元岡1号墳、⑤離湖古墳、⑥浜詰遺跡 現在整備中の史跡 ⑦網野銚子山古墳

重点目標7 たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	実績値 (H27年度末)	27年度成果と今後の課題
1. 健康な体づくり 2. 地域スポーツ活動の推進 3. 競技力の向上 4. 社会体育施設等の整備充実	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	%	小学生97.8% 中学生91.1% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙(平成25年度)	小学生100% 中学生95%以上	小学生98.2% 中学生93.6%	計画作成時よりも、各校や学園での家庭への啓発や児童生徒への指導によって、小中とも目標値に近づきつつある。今後も個別に課題のある児童生徒の保護者と連携した取組等によって100%に近い数値を目指していく。
	平日、午前7時より前に起きる児童生徒の割合	%	小学生88.4% 中学生77.2% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙(平成25年度)	小学生100% 中学生85%以上	小学生86% 中学生49% (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問用紙から外されたため市独自調査)	小学校においては、約9割の児童が午前7時までに起床しているものの、中学校においては半数にみたない状況にある。今後も各校、各学園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等で改善を図っていく必要がある。また実施した時期が高校入試に向け追い込みの時期だったこともあり、調査時期の検討も必要である。
	平日午後11時より前に寝る児童生徒の割合	%	小学生91.6% 中学生45.0% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙(平成25年度)	小学生100% 中学生50%以上	小学生84% 中学生22% (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問用紙から外されたため市独自調査)	小学校でも11時まで起きている児童が相当数いる。また中学校においては、調査実施時期が高校入試に向け追い込みの時期だったこともあり、大変低い数値となった。今後は早起きの取組とリンクさせ、各校、各学園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等で改善を図っていく必要がある。
	小学生(5年生)の体力テスト全国平均以上		8種目中7種目	全種目	8種目中3種目	小学校においては、握力と上体そらし・長座体前屈などの柔軟性に対して全国平均を下回っている状況が見られる。今後は各校への課題の周知により、体育の時間だけでなく、体力づくりの取組等で意識的に課題のある運動能力についての克服を図っていく必要がある。
	中学生(2年生)の体力テスト全国平均以上		8種目中4種目	全種目	8種目中6種目	中学校においては、持久走、シャトルラン以外の運動能力に課題が見られる結果となった。今後は各校への課題の周知により、体育の時間だけでなく、部活動等で意識的に課題のある運動能力についての克服を図っていく必要がある。
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	21.6% 市民アンケート調査結果(平成24年度)	65.0% 国の目標	30%	今後行いたいスポーツとして割合の高いウォーキング(ハイイック・ウォーキング)を重点推進種目として推進した結果、市全体に浸透しつつある。 今後の課題としてウォーキングイベント等の事業連携による周知徹底などスポーツ人口の更なる増加に努める必要がある。
	京都府民総合体育大会入賞競技数	競技	6競技 京都府民総合体育大会結果(平成25年度)	10	7	各競技共に選手層の拡大を図る努力の結果、入賞競技数も増え、総合成績もH25:8位、H26:6位、H27:5位と年々上がってきた。 課題として選手の高齢化・入賞種目の固定化が進んでおり、更なる選手の发掘・拡大が必要である。
	公共スポーツ施設の利用回数	回	11,253回 公共施設利用状況調査結果(平成24年度)	13,000	13,820	公共施設(社会体育施設)の利用促進のために、インターネットによる公共施設予約の拡充を図り、利用者の利便性に努めた。 施設の老朽化が進む中で、今後も継続して市民が安全・快適に利用できるための計画的な施設整備を行う必要がある。

6 主要な決算の概要

義務教育施設環境整備事業（再編交付金活用事業）
小学校施設耐震化事業
学校再配置推進事業
小中一貫教育推進事業
学習支援体制整備事業
いじめ防止啓発推進事業
放課後児童健全育成事業
保育所一般経費
学校支援地域本部事業
高齢者教育事業
家庭教育事業
全国高等学校総合体育大会開催事業
遺跡整備事業
丹後展開催事業

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業	決算書	P.324
細事業名	02 小学校施設耐震化事業					
総合計画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実				
決算額	(1)	最終予算額	(2)	不 用 額	(②-①)	執 行 率
114,597千円		114,685千円		88千円	88千円	99.9 %
目的	(参考) 当初予算額 耐震性能が不足している小学校施設について、計画的な耐震補強工事を行い、大規模地震発生時ににおける児童の安全を確保する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	京丹後市立学校施設耐震化計画に基づき、平成26年度に引き続き、吉原（現：いさなご）小学校の耐震改修等工事を行つた。					
○委託料	吉原小学校校舎棟耐震補強等工事監理業務					
13 委託料	監理業務委託料 実施設計委託料 設計監理委託料 工事請負費	3,002千円 13,071千円 864千円 277,301千円				
15 工事請負費						
個 別 事 業 名	決 算 額					
17 義務教育施設環境整備事業	294,238千円					

事業名称	再編交付金活用事業					
個 別 事 業 名	決 算 額					
17 義務教育施設環境整備事業	294,238千円					
13 委託料	監理業務委託料 実施設計委託料 設計監理委託料 工事請負費	3,002千円 13,071千円 864千円 277,301千円				
15 工事請負費						
○各中学校普通教室等空調化事業	269,470 千円					
・監理業務委託料	3,002 千円					
・工事請負費	266,468 千円					
大宮・網野・丹後・弥栄中学校 計4校						
○各中学校普通教室等空調化事業	15,675 千円					
・監理業務委託料	864 千円					
・工事請負費	10,833 千円					
大宮 小学校 計 2校						
○中小学校非構造部材落下防止事業	3,978 千円					
・設計監理委託料						
・工事請負費						
峰山・網野北小学校						
○吉原、長岡、大宮第一、大宮南、島津、網野北、網野南、 豊栄、宇川、弥栄小学校 小学校 計10校						
○吉原小学校（現：いさなご小学校）を最後に学校施設耐震化計画による小中学校の耐震化がすべて終了し、安心・安全で快適な教育環境を整えることができた。						
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課					
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課					

予算科目		10教育費	01教育総務費	02事務局費	01教育総務費	02事務局費	12小中一貫教育推進事業	決算書	P.316
事業名		01 小中一貫教育推進事業							
総合計画		01 小中一貫教育推進事業							
決算額	計画項目	①	最 終 予 算 額	②	不 用 額	(②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	(参考) 当初予算額
4,013千円	京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を充実するに向けた取組を推進する。	4,205千円	4,205千円	192千円	95.4 %	4,979千円			
主な事業及び成果の概要	学校再配置事業を円滑に推進するため、学校づくり準備協議会を設置し、新しい学校の開校に向けた取組を進めるとともに、車両配置後の枠組に応じた児童生徒の交流学習などを実施するなど、また、開・閉校式の実施、閉校式での取組を支援した。 平成27年度開校 平成27年度閉校 網野中 吉原小、五箇小	239千円	238千円	1千円		3,104千円			
主な財源	○式典開運経費 ・需用費（式典用装飾花、看板等） ・役務費（白布等クリーニング手数料） ○開校準備経費 ・報償費（校章・校歌作成記念品等） ・需用費（掲出用校旗、校名板修繕等） ・委託料（設計委託料、校章等更新業務委託料、情報通信機器等移設委託料等） ・備品購入費（式典用校旗、ステージ一文字幕、部活動用ユニフォーム（ほか）） ○閉校記念誌補助金（五箇小） 1,513千円 670千円 1,933千円 ○再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向けた取組み、計画通りの再配置を実現することができた。 ○学校再配置基本計画の前期が終了し、学校再配置は着実に進んでいる。 ○引き続き、学校再配置基本計画に基づき、学校再配置を計画的に推進する必要がある。	239千円	238千円	1千円		56千円 125千円 1,410千円			
評価	○小中一貫教育実施校による先行的な実践研究と検証を積み重ねるとともに、導入準備校では、実施校を先行モデルとして小中一貫教育を実施する基盤を整えた。 ○平成28年度からは小中一貫教育が市全域での実施となるため、小中一貫教育推進基本計画に基づくより良い教育体制の整備推進を着実にしていく必要がある。	326千円 8人 15回	326千円 8人 15回	326千円 8人 15回		6人 3回 丹後学（小学校6回、中学校5回）			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課	72千円	72千円	72千円		138千円			
主な財源	○再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向けた取組み、計画通りの再配置を実現することができた。 ○学校再配置基本計画の前期が終了し、学校再配置は着実に進んでいる。 ○引き続き、学校再配置基本計画に基づき、学校再配置を計画的に推進する必要がある。	500千円	500千円	500千円		500千円			

事業名		01 学校再配置推進事業						決算書	P.314	
合計		計画項目	29	未来を拓く学校教育の充実						
決算額	4,013千円	京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を充実するに向けた取組を推進する。	4,205千円	192千円	95.4 %	4,979千円				
主な事業及び成果の概要	学校再配置事業を円滑に推進するため、学校づくり準備協議会を設置し、新しい学校の開校に向けた取組を進めるとともに、車両配置後の枠組に応じた児童生徒の交流学習などを実施するなど、また、開・閉校式の実施、閉校式での取組を支援した。 平成27年度開校 平成27年度閉校 網野中 吉原小、五箇小	239千円	238千円	1千円		3,104千円				
主な財源	○式典開運経費 ・需用費（式典用装飾花、看板等） ・役務費（白布等クリーニング手数料） ○開校準備経費 ・報償費（校章・校歌作成記念品等） ・需用費（掲出用校旗、校名板修繕等） ・委託料（設計委託料、校章等更新業務委託料、情報通信機器等移設委託料等） ・備品購入費（式典用校旗、ステージ一文字幕、部活動用ユニフォーム（ほか）） ○閉校記念誌補助金（五箇小） 1,513千円 670千円 1,933千円 ○再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向けた取組み、計画通りの再配置を実現することができた。 ○学校再配置基本計画の前期が終了し、学校再配置は着実に進んでいる。 ○引き続き、学校再配置基本計画に基づき、学校再配置を計画的に推進する必要がある。	239千円	238千円	1千円		56千円 125千円 1,410千円				
評価	○小中一貫教育実施校による先行的な実践研究と検証を積み重ねるとともに、導入準備校では、実施校を先行モデルとして小中一貫教育を実施する基盤を整えた。 ○平成28年度からは小中一貫教育が市全域での実施となるため、小中一貫教育推進基本計画に基づくより良い教育体制の整備推進を着実にしていく必要がある。	72千円	72千円	72千円		138千円				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14いじめ防止推進事業
総事業名	01 いじめ防止啓発推進事業			決算書 P.316
総合計画計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額	277千円	最終予算額	① 305千円	不 用 額 ② 28千円
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止策を総合的かつ効果的に推進する。	執 行 率	(②-①) 90.8 %	(参考) 当初予算額 335千円
主要な事務・事業及び成果の概要	11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題やいじめの防止等の取組について正しい理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るために、「いじめ防止講演会」を実施した。さらに、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行った。			
○報償費	60千円			
・いじめ防止講演会講師謝金				
開催日：平成27年11月30日（月）		会場：アグリセンターハウス		
講 師：立命館大学 野田正人教授		参加者数：105人		
○需用費	90千円			
・印刷製本費	85千円			
いじめ防止講演会チラシ（21,000枚）				
いじめ防止啓発グッズ（PRカード 児童用500枚）				
・修繕費（懸垂幕の修繕）	5千円			
○役務費	27千円			
・いじめ相談専用フリーダイヤル設置費用、通話料、				
いじめ相談専用携帯電話利用料				
相談受付：24時間対応		対応者：教育委員会事務局指導主事		
※いじめ相談件数：0件				
○委託料	100千円			
・インターネットモラル研修会講師派遣委託料				
開催日：平成27年8月24日（月）		会場：大宮庁舎		
講 師：NTT情報技術推進ネットワーク（株）代表取締役 嘉一氏				
主な財源				
評価・課題等	○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を図ることができた。 ○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る組合必要である。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

算 算		算 算		算 算		算 算															
事 業	科 目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13教育のまちづくり推進事業																
合 計		計画項目		29 未来を拓く学校教育の充実																	
決 算	額	①	最 終	予 築 額	②	不 用 額	(参考) 当初予算額														
事業名	02 学習支援体制整備事業	1,458千円		1,504千円		46千円	96.9 %														
合 計	画						2,864千円														
実証研究を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進めます。	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後や土曜日を活用した教育活動の地域ぐるみでの放課後学習の環境づくり「小学生放課後わくわく自習室」を継続するどともに、土曜日を活用した教育活動、情報メディアを活用した学習支援の実証研究を行った。	○教育活動の実証研究	○放課後の学習支援	○小学生放課後わくわく自習室（運営協力謝金）	○地域の人材を活用し、地区公民館等を会場に、毎週水曜日の放課後ど月1回土曜日に学習支援を行った。	○実施地区（地域）：宇川連合区、黒部区、佐野甲区	○中学生放課後学習支援（講師謝金、消耗品費）	○学習が遅れかちな中学3年生を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。	○実施校：網野中、丹後に土曜日を活用した教育活動（講師謝金、消耗品費、印刷製本費ほか）	○第二土曜日を「わくわく学びサタデー」に設定し、各学校の創意工夫による教育活動の調査研究を企画して実施した。また、啓発用リーフレットを作成し保護者等に配布した。	○高校受験数学基礎講座：全9回（各30分）	○学習支援番組による支援（消耗品費）	○市ケーブルテレビ放送を活用し、高校受験対策番組「数学基礎講座」を放映するどもに、番組に応じてデータカードを作成し中学生3年生に配付した。また、DVD教材として各中学校・市立図書館で貸出しを行った。	○放送期間：平成27年12月7日～12月30日	○地域で支える学習教育推進事業費補助金（2/3）	○国補 府委	○放課後や土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業費（10/10）	○川学生を対象とした「放課後わくわく自習室」を3地区（地域）で継続実施することに、第二土曜日に各学校の創意工夫を凝らした教育活動を実施することで、地域と学校が連携した学びの支援体制づくりの検証を行なうことことができた。	○中学生の放課後学習支援を実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。	○放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を踏まえ、ニーズに応じた支援体制を構築する必要がある。	○教育委員会事務局／学校教育課
決 算	額	①	最 終	予 築 額	②	不 用 額	(②-①)	執 行 率	(参考)	当初予算額	決算書	P.316									

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	50保育所一般経費	
総事業名	01 保育所一般経費				決算書 P.170
総合計画	計画項目	28 子育て支援の総合的な推進			
決 算 額	① 最 終 予 算 額	② 不 用 額	③ 勤 行 率	④ 当初予算額	
553,856千円	561,267千円	7,411千円	98.6 %	616,141千円	
目的	保育所入所児童の健康管理、臨時職員の雇用、職員等の研修、児童の送迎、バス運行、給食調理業務等により保育所の円滑な運営を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	保育を円滑に実施するため、臨時保育士の任用や児童の健康管理経費、給食調理業務、広域入所委託費、職員の資質向上のための研修経費を支出した。				
＜支出内訳＞					
1.保育所運営に関する経費					
○臨時職員（保育士、調理員等）賃金・共済（社保、労災、雇保）	414,015千円				
○健康診断実施手数料（非常勤職員）	159千円				
○給食調理業務委託料（6保育所）	56,859千円				
○児童送迎運行、遠足等バス借上費用等	51,886千円				
○保育所用地借上料及び建物火災保険料	1,888千円				
○広域入所委託料（他市町村への入所委託費）	5,766千円				
○NewTRY-X/Ⅱ子ども・子育て支援制度対応機能使用に係る負担金	589千円				
○その他（日本スポーツ振興センター・府保育協会負担金ほか）	7,832千円				
2.児童の健康管理に関する経費					
○嘱託医報酬（内科9人、歯科12人）、費用弁償等	6,731千円				
○入所児童の尿・ぎょうう虫検査手数料等	1,070千円				
3.職員の研修に関する経費					
○講師謝礼、研修等参加旅費、負担金等	255千円				
4.一時預かり事業関係経費					
○臨時等職員賃金（保育士）	6,806千円				
延べ利用児童数	1,094人				
（峰山保育所150人、大宮南保育所285人、網野みなみ保育所102人、丹後保育所188人、弥栄保育所68人、かぶと山保育所301人）					
負担金	保育料現年度分			84,924千円	
国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）			1,684千円	
府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）			1,684千円	
諸収入	一時預かり事業利用料、延長保育料			2,397千円	
諸収入	日本びー・振興ひー・保護者負担金、保育所給食調理機器類賃付料			3,652千円	
主な財源	保育所運営を実施するために、施設管理、職員確保、児童・職員の健康管理などの業務を実施することで、円滑な保育所運営を行うことができた。				
評価	・課題等				

事業名		01 放課後児童健全育成事業			02児童福祉費			01児童福祉社團活動費			02放課後児童健全育成事業			
合計		計画項目			28 子育て支援の総合的な推進			決算額			決算書			
決算額	項目	①	最	終	予算額	②	不	用	額	(②-①)	執行率	(参考)	当初予算額	
130,025千円			130,586千円				561千円			99.5 %	130,204千円			
保護者の就労等により放課後及び長期休業期の區間に家庭保育を受けることのできる児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。														
保護者の就労等により、放課後及び長期休業期の區間に家庭保育を受けることのできる児童(平成27年度から5・6年生の児童受入拡大)を対象に、安心して生活できる場を提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めた。														
○開設状況		年間開設日数：290日			開設時間：授業終了後～午後6時30分（長期休業期及び土曜日は午前7時30分～）			年間平均児童数：370人（前年度比27人増）			（峰山52人・峰山長岡26人・峰山吉原27人・大宮47人・大宮口大野60人）			
網野南38人・網野北30人・丹後16人・弥栄30人・久美浜44人														
○費用費		（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）			4,819千円			○委託料（消防設備・浄化槽点検・児童送迎車運転）			8,689千円			
○放課後児童健全育成事業委託料		（峰山：トイレ改修工事、口大野：外灯設置工事、			114,316千円			○工事請負費（峰山：トイレ改修工事）			1,116千円			
○その他経費（火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか）		○その他の経費（火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか）			1,085千円									
使用料	放課後児童健全育成事業利用料			府補	公用財産使用料			国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）			15,562千円		
使用料	公財産使用料			府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）			国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）			10,411千円		
諸収入	久美浜有線放送電気代等負担金			諸収入	久美浜有線放送電気代等負担金			諸収入	子ども・子育て支援交付金（1/3）			18,089千円		
○施設の老朽化などに伴い移転施設を確保し、待機児童ゼロの継続ができ、保護者の子育てと就労の両立等を支援することができた。また、平成27年度から利用料を引き下げ、保護者の経済的負担の緩減を図った。		○制度の拡充により利用者が増加するなか、引き続き「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」に対応していくため、小学校の空き教室の活用など施設拡充を進めようとする定である。			484千円									

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	01高齢者教育事業	決算書	P.346
細事業名	01 高齢者教育事業					
総合計画 計画項目 30 多様な学びを支援する社会教育の充実						
決算額	5,691千円	① 最終予算額	6,067千円	② 不用額	376千円	(参考) 当初予算額 6,266千円
目的	高齢者大学などの講座を市内全域で実施することによつて、高齢者の社会参加と生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進する。					
○高齢者大学	968人	(平成28年3月31日現在)				5,252千円
・受講者数						
・実施地域	各町(各地域公民館主管)					
活動内容						
学園	一般講座					
	回数	延べ参加者	延べ回数	延べ参加者	講座数	講座内容
峰山	8回	532人	125回	1,798人	11	ちぎり絵、コーラス、民踊、歌謡等
大宮	8回	345人	45回	705人	8	庭木剪定、絵手紙、パソコン等
網野	10回	1,205人	232回	3,822人	12	陶芸、水彩画、習字、料理等
丹後	8回	350人	53回	633人	9	生け花、詩吟、書道、俳句等
弥栄	8回	390人	66回	619人	8	書道、絵手紙、手芸、料理等
久美浜	8回	446人	67回	891人	8	囲碁、古典文学、パソコン、料理等
○高齢者大学院						439千円
・受講者数	23人					
・実施回数	5回					
・実施場所	成美大学(現:福知山公立大学)					
主な財源	府補 諸収入	高齢化対策推進事業費補助金 社会教育事業等参加料				1,000千円 1,384千円
評価	○各種講座(高齢者大学・高齢者大学院)の実施により、高齢者の仲間づくり、生きがいづくりに寄与したことができた。 ○より一層の高齢者の社会参加の促進と地域活動の活性化の推進を図ることが必要である。					

算 算 科 目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13教育のまちづくり推進事業
事 業 名	学校支援地域本部事業			決算書 P.316
合 計 画	計画項目	29 未来を拓く学校教育の充実		
決 算 額	① 最 終 予 算 額	② 不 用 額	③ 執 行 率	(参考) 当初予算額
5,037千円	5,103千円	66千円	98.7 %	5,328千円
目	「教育と学びのまち京丹後」の実現に向け、学校を核とした地域の教育力の向上と活性化を図る。 を育む環境の充実を進め、学校を核とした地域の教育力を向上させることで、地域の子供たちが、地域の資源を活用して、自分たちで学ぶ機会を増やし、地域社会に貢献する力を育んでいくことを目指す。	地元全体で学校教育を支援するために、さまざまな特技や技能を持った地域の人材を学校支援ボランティアとして登録していただき、全ての幼稚園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行った。	○実施期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日 ○実施地域 市内全ての小学校（20校）・中学校（6校）・幼稚園（6園） ○地域コーディネーターの配置 6人（各地域公民館） ○ボランティア登録者数 512人（平成27年度新規登録者数42人） ○広報誌の発行（2回） ○ボランティア活動	<活動内容> ・学習支援（教科指導補助、総合的な学習の時間の講師、部活動指導支援） ・環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等） <活動実績> ・峰山中学校区 802日／2,534人 ・大宮中学校区 80日／ 190人 ・網野中学校区 593日／4,367人 ・丹後中学校区 542日／3,047人 ・弥栄中学校区 370日／ 675人 ・久美浜中学校区 268日／1,339人
○謝 金	4,159千円			
○旅 費	417千円			
○消耗品・印刷製本費	451千円			
○使用料（有料道路運行料）	10千円			
専	地域で支える学校教育推進事業補助金（2/3）			3,088千円

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育費	05全国高等学校総合体育大会事業
細事業名	02 全国高等学校総合体育大会開催事業			
総合計画	計画項目	30 多様な学びを支援する社会教育の充実		
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額
13,116千円	13,148千円	32千円	99.7%	14,564千円
目的	全国高等学校総合体育大会力又一競技が久美浜湾力又レーシング競技場で開催されるため、京都府と協力して大会の運営を支援する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	大会の開催に向けて、競技場内の施設・設備を整備した。 ○報償費 報賞物品（参加記念品） ○費用 修繕料（大会会場力又一艇庫更衣室・施設内門扉・公用車修繕 ・ゴールランドマーク用支柱・屋外屋内照明設備） ○役務費 手数料（事故証明書手数料） ○委託料 バス運転委託料（大会役員等送迎バス運転委託料） ○補助金 高校総体力又一競技大会開催事業補助金 ※全国高等学校総合体育大会種目別（力又一）総事業費：46,867千円			
主な財源評価	【大会規模・期間】8月3日から8月8日 参加選手・監督 765人 運営役員等 761人 来場者 約5,000人			○京丹後市スポーツ推進計画の目標として掲げている全国級の競技大会を久美浜湾力又一競技場で開催することができた。 ○宿泊を伴う大会であり、観光関係者との連携を深めることで、スポーツを通じたまちづくりの推進を行った。

算 科 目	10 教育費	05 社会教育費	01 社会教育総務費	10 家庭教育事業	決 算 書	P.346
事 業 名	01 家庭教育事業					
合 計	計画項目	30 多様な学びを支援する社会教育の充実				
決 算 額	① 最 終 予 算 額	② 不 用 額	③ 執 行 率	(参考) 当初予算額		
3,190千円	3,192千円	2千円	99.9 %	3,614千円		
○発達段階に応じた学習機会の提供及びきめ細かな家庭教育支援を実施するこどもによる家庭教育を推進する。で、全ての教育の出発点であり子どもの成長の基礎となる。	○乳幼児期から就学前・学童期・思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教육支援チームによる子育て支援活動を実施した。また、引き続きPTA活動の支援を行った。	○子育て講座 ・幼稚期子育て講座 ・就学前、学童期、思春期子育て講座 ○家庭教육支援チーム事業 <家庭教육支援チーム> (各地域公民館6チーム／子育てサポートー48人) 地域や家庭の教育力の低下、子育ての孤立化が進み、悩みや不安を抱えている親に對して、きめ細かな家庭教育支援を行うことを目的に、子育てで経験者や子育てに關わる専門的な知識や経験を持つ、趣旨に賛同するメンバーで構成された「家庭教育支援チークム」を各地域公民館で組織し、地域課題に即した子育て支援活動を行う。	実施回数 2回 延べ参加者数 45人 実施回数 11回 延べ参加者数 988人 931千円	241千円		
○子育て交流会（全チーム）事業 ・「手紙で結ぶ家族の絆」事業 (網野・弥栄)	○「手紙で広場（全チーム）」事業 ・高校生と赤ちゃんのふれあい交流 事業（全チーム） ・広報誌発行（全チーム）	実施回数 25回 延べ参加者数 458人 実施回数 各1回 延べ参加者数 117人 実施回数 7回 延べ参加者数 179人 実施回数 30回 延べ参加者数 676人 発行回数 各1回	458人 117人 179人 676人	1,404千円 614千円		
○「母の鐘」撤去工事（久美浜町地域） ○京丹後市PTA協議会補助事業 ・京丹後市PTA研究大会の開催、各プロック子育て講演会の開催、各種研修会の参加 PTA安全会掛金助成	○家庭教育支援基盤形成事業費補助金（2/3）			781千円		
府補	家庭教育支援基盤形成事業費補助金（2/3）					
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／社会教育課					
○子どものがんばりに即した子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションを深めていくに大きくこができた。 ○関係機関との連携により、課題の共有により効果的な学習会等の実施を図る必要がある。						

算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡整備事業	決算書	P.364						
事業名	01 遺跡整備事業					決算書	P.366					
総合計画	計画項目	31 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	計画項目	31 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	決算書	P.366						
決算額	① 最終予算額	② 不用額	(@-①)	執行率	(参考) 当初予算額	決算書	P.366					
14,595千円	14,859千円	264千円	98.2%	17,145千円	22,897千円	23,124千円	227千円					
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域つくりの資源などへ有効に活用する。		丹後各地に残る貴重な文化財を一堂に集めた「日本のふるさと大丹後展」を丹後で開催し、丹後の魅力を発信する。		丹後各地に残る貴重な文化財を一堂に集めた「日本のふるさと大丹後展」(12月5日～1月17日)を開催し、「日本のふるさと大丹後展」(12月5日～1月17日)を丹後、京都府立大学大学生による展示解説、職員によるギヤラリートークを開催した。また、丹後展の内容を広く市民へ還元するための講演会等を丹後で開催した。							
主要な事業及び成果の概要	<p>○丹後展専門委員報酬・費用弁償等(補助業務1人、週4日勤務) (日額9,000円×200日)</p> <p>○関連講演会「大丹後展のみどころを探る」 峰山総合福祉センター 講師謝金・費用弁償(4人) 12月12日 参加者 200人 1,550千円</p> <p>○陶けんコンサート 謝金・費用弁償(2人) 12月13日 参加者40人 1,220千円</p> <p>○オープニング丹後大物産展 12月5日 京都文化博物館中庭ウッドテック 138千円</p> <p>会場設営(テント設営・看板設置等) 委託料、会場使用料(中庭) 1,477千円</p> <p>○展示会図録原稿謝金(8人) 1,157千円</p> <p>○展示会図録、ポスター・チラシ、案内状・封筒、袋等印刷費 1,024千円</p> <p>○美術品専門業者による展示会作品運送費、展示一貫保険料 1,023千円</p> <p>○展示広報(鉄道広告・看板設置等) 委託料、京都新聞主催名義料 1,023千円</p> <p>○展示会場設営等業務委託料(展示ケース・パネルの製作・設置等) 1,023千円</p> <p>○展示会場受付(チケット確認)、展示室監視等業務委託料 1,023千円</p> <p>○音声ガイド作成委託料(展示音声案内の原稿・音声データ作成) 1,023千円</p> <p>○展示作品出展料、写真パネル・図録掲載用写真使用料 1,023千円</p> <p>○担当職員旅費(打ち合わせ、資料調査、借用、設営、入替、返却等) 1,023千円</p> <p>○その他の消耗品、郵便料等事務経費 1,023千円</p> <p>○丹後半島振興広域連携促進事業費補助金 1,023千円</p> <p>府補 諸収入 丹後展入湯料 丹後展物品販売代金 973千円</p>											
主な財源	<p>○重要文化財8件、京都府指定文化財15件を含む137件の貴重な資料を一堂に集め展覧会を開催することができる。また、丹後展の魅力を伝えることができる。 ○同阪神の方々にあたり、古墳全体の詳細な現況の把握が課題であったが、今回の測量で詳細な現況地形データを得ることができた。</p>											
評価	<p>○網野銚子山古墳の環境整備を行ったことで、後世の削平(墳丘部の人工的な土地改変、掘削)、崩落等で影響を受けている墳丘部を復元設計するためのデータを蓄積することができた。</p>											
事業所管課	事業所管課／教育委員会事務局／文化財保護課											

算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡整備事業	決算書	P.364
事業名	01 遺跡整備事業					決算書
合計画	計画項目	31 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	計画項目	31 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	決算書	P.366
決算額	① 最終予算額	② 不用額	(@-①)	執行率	(参考) 当初予算額	決算書
14,595千円	14,859千円	264千円	98.2%	17,145千円	22,897千円	23,124千円
国補	国宝重要文化財保存整備費補助金(1/2)	6,450千円				
○網野銚子山古墳の環境整備を行ったことで、後世の削平(墳丘部の人工的な土地改変、掘削)、崩落等で影響を受けている墳丘部を復元設計するためのデータを蓄積することができた。 <p>○同古墳の整備を行うにあたり、古墳全体の詳細な現況の把握が課題であったが、今回の測量で詳細な現況地形データを得ることができた。</p>	<p>○網野銚子山古墳の環境整備を行ったことで、後世の削平(墳丘部の人工的な土地改変、掘削)、崩落等で影響を受けている墳丘部を復元設計するためのデータを蓄積することができた。</p> <p>○同古墳の整備を行うにあたり、古墳全体の詳細な現況の把握が課題であったが、今回の測量で詳細な現況地形データを得ることができた。</p>					